

問 業者委託・設備・光熱水費は公費負担で、保護者は食料材料費だけ負担している。これまでと同じ水準を満たすには、値上げ分を保護者に負担してもらう必要がある。消費税は消費一般に広く負担を求める恒久的な制度であり、区が財政支援する考えはない。

答 学校給食費を値上げしないために区が財政支援すべき。

問 消費税引き上げの政府決定を一定評価している。消費税が8%になると地方消費税交付金が32億円程度、10%になれば52億円程度増える。

答 消費税引き上げの評価と区財政への影響はどうか。

問 アベノミクスによる円安で、輸入価格が高騰し、食品、光熱費が値上がり、さらに4月から消費税が8%に増税されます。その影響と対策など、区民生活への支援を求めました。

消費税増税から区民生活を守れ



あべ早苗 議員

代表質問

問 2014年度予算で落合地域に新たに2カ所認可保育園を増設するが、今後需要が増えることを考え、都立障害者センターなどの所有地、日銀宿舍跡地などの国有地の活用を。その際は

答 区は日本共産党が提案してきた認可保育園を増やしていますが、保育園の待機児はなくなりません。さらに小学校に入学した後に利用する学童クラブでも待機児が発生しています。

保育園・学童クラブの待機児童解消

問 灯油や電気代が高騰するなか、財政的に厳しい自治体でも「福祉灯油」制度をつくり、光熱費を支援するところが広がっている。新宿区も低所得世帯に夏冬の冷暖房代の助成を。

答 現時点では考えていない。

問 年金削減を区長はどつ思つか。年金2.5%削減で区民の年金はどんな影響を受けるか。

答 世代間・世代内の公平性確保が大切と

問 0歳児から受け入れる施設にすべき。必要な場所に必要サービスを提供するなかで、適地として所有地・国有地があれば検討する。新宿の0歳児保育実施率は23区トップクラスで、定員枠は1歳児の約2倍。だから育児休業を切り上げて0歳児枠で申し込む。今後は一丁調査結果に基づいて入園枠を確保する。



問 放課後子どもひろばを年度途中で学童クラブに切り替えるのは、制度の違いもあり難しい。職員は、区内の学童クラブで体験実習し、区の職員が保護者への対応などを直接指導する。春休みには区職員が現場で指導し、4月以降も適宜巡回する。

答 落合第四小学校地域の学童クラブ待機児童解消のために、小学校内の1教室を活用して、夏休みから小学校内学童クラブを開設せよ。新しく「学童クラブ機能付き放課後子どもひろば」で待機児童を受け入れるが、職員の研修、指導の徹底を。

問 必要に応じて、国から丁寧な説明がされることを受給者の理解につながる。非課税年金を除く区民の公的年金収入は、昨年度実績で730億円で、その2.5%の18億円減る。

答 必要な場所に必要サービスを提供するなかで、適地として所有地・国有地があれば検討する。新宿の0歳児保育実施率は23区トップクラスで、定員枠は1歳児の約2倍。だから育児休業を切り上げて0歳児枠で申し込む。今後は一丁調査結果に基づいて入園枠を確保する。

各議員は、定例の法律・くらしの相談会を行っています。お気軽にお問合せください。



雨宮たけひろ
左門町12 ライジングプラザ5A
電話 090-1544-5088



沢田 あゆみ
西早稲田2-19-1共美ビル101
電話 090-3088-9591



あざみ 民栄
市谷加賀町2-6-1 D-302
電話 090-1802-4520



川村のりあき
西落合1-32-18
電話 090-9330-9004



佐藤 佳一
北新宿1-6-16-602
電話 090-2641-8431



あべ 早苗
新宿7-16-13
電話 090-4015-8151



近藤 なつ子
戸山1-16-16-310
電話 090-4849-3227



田中のりひで
上落合1-1-15落合パークファミリア302
電話 080-5483-5516

神楽坂駅

早稲田駅

新宿御苑前駅

2017年度

エレベーターが設置されます!!

みなさんの願い、ついに実現!

東京地下鉄株式会社(東京メトロ)は、東西線の神楽坂駅・早稲田駅、丸ノ内線の新宿御苑前駅のエレベーター整備について発表しました。日本共産党区議団は、駅のバリアフリー化のため、各駅のエレベーター設置を求めてきました。特に神楽坂駅については、地域住民、利用者からの要望は強く、区議団が毎年実施する区政アンケートでも毎年複数の方から要望があり、また周辺町会や商店街のみなさんも運動されてきました。区議団はこのような声を受け、東京メトロ等関係機関に繰り返し働きかけてきました。(写真参照) 早稲田駅の飯田橋方面、新宿御苑前駅の四谷方面については、すでにホーム出入口にはエレベーターが設置されていますが、今回反対側のホームにも設置されることになりました。



故松ヶ谷、あざみ、近藤議員が住民のみなさんと東京メトロに要請(2006年7月7日)

東西線 神楽坂駅



東西線 早稲田駅



丸ノ内線 新宿御苑前駅



2014年度予算 区民の願い、日本共産党の要求みのる

新宿区の2014年度予算には、日本共産党区議団が、区民のみなさんと要求してきた施策が新たに計上または拡充されました。主なものを紹介します。

●認可保育園2所開設

賃貸物件を活用した認可保育園を落合第一、二地区、高田馬場3丁目地域に開設
2015年4月開設予定

●小規模多機能居宅介護施設、認知症高齢者グループホーム 西落合に開設

西落合所有地を活用した小規模多機能居宅介護施設(登録定員25人)、認知症高齢者グループホーム(18人)の開設

●街路灯のLED化

更新時期を迎える街路灯をLEDに改修
LED街路灯…320基

教育

- 特別支援学級の設置
2015年度に四谷第六小学校、鶴巻小学校に拠点校として開設
隣接する四谷、花園、江戸川、早稲田の各小学校に在籍する児童に巡回指導を実施
- 特別支援教育推進員の増員
発達障害のある児童・生徒への学校内指導の充実
24人→26人

子育て

- 中央図書館跡地に認可保育園
中央図書館跡地を活用し認可保育園を開設
2016年7月開設予定

障害者

- 仮称百人町4丁目精神障害者支援施設
精神障害者を対象とした支援施設
2015年度 開設



防災

- スタンドパイプの追加配備
火災危険度3・4・5に続き火災危険度2の地域にも配備
- 防災区民組織への活動費支給を拡充
世帯数1500以上の防災区民組織に8万、9万、10万円のランクを新設

安全

- 自転車駐輪場の整備
中井駅南側 250台…2014年7月開設
牛込柳町 定期利用の7台分を時間利用駐輪場に
- 空き家等適正管理審査会の開催
空き家等の適正管理に関する条例に基づき空き家等適正管理審査会を月1回程度行い、管理不全の空き家等を認定及び命令・代執行の可否判断をする

環境

- エコスクールの推進
校庭芝生化(天神小)・屋上緑化(鶴巻小)・太陽光発電設計(落合第五小、四谷中)・太陽光発電設備設置(落合二中)・みどりのカーテン充実(小学校24校、中学校5校、特別支援学校)

区民の声を反映する区政をめざして、日本共産党新宿区議団はがんばります!

●ホームページ <http://www.jcp-shinjuku.com>
各区議のホームページやEメールも
区議団のホームページのリンクからご覧いただけます。



あなたの声をなんでもお寄せ下さい。
新宿ボイス 検索
<http://jcp-voice.jp/tokyo/shinjuku/>



代表質問(つき)

スポーツ施設利用料の引き下げを

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツの裾野を広げるために利用料等の改善を要求しました。

近隣の他区にくらべて高い屋外施設の利用料と照明利用料を引き下げ、高齢者のプール利用料を半額にし、障害者は区内・区外参加を問わず利用料を無料にせよ。

スポーツ施設は「市場的・選択的サービス」と位置づけて料金をもりこんでいる。現時点で見直しは考えていないが、減価償却費などの経費を調査して、利用料減免等を含め適正化に向けて検討する。

憲法を擁護し、脱原発を

安倍内閣が集団的自衛権を政府解釈で可能にすることは立憲主義の否定であり、国民主権を踏みにじるものと考えないか。また、安倍首相の靖国参拝は今日の世界秩序に挑戦するもので許されない。

自治体の長としては国会の議論を注視するが、憲法改正や憲法解釈については、現行憲法に即して慎重な議論が必要と考える。靖国参拝についてもさまざまな意見があるが、地域のなかで地道に信頼関係を築くことが重要。

政府の「エネルギー基本計画案」で原発維持・推進の方針を掲げていることをどう受け止めるか。また原発再稼働についての見解は。

今後決定されるエネルギー基本計画と国の動向を見守る。再稼働については最大限の安全を確保したうえで必要性について議論すべき。

予算特別委員会 (2月26日~3月11日)

川村のりあき議員が予算特別委員長

2014年度予算案を審議する予算特別委員会が開催されました。日本共産党区議団からは、沢田・川村・あざみ・雨宮議員が参加し、川村のりあき議員が委員長を務めました。

今回の予算特別委員会は、消費税増税を4月に控え、区民生活の厳しさが想定されるもと、区民生活をどう支えていくかが問われた委員会でした。日本共産党区議団は、予算修正案を提案し、待機児童解消のための保育園・学童クラブの増設、介護保険サービスの充実等を求めて論戦しましたが、取り入れられませんでした。さらに国民健康保険料・後期高齢者保険料引き上げ反対の立場から全予算案に反対しました。



川村のりあき議員

CSW (コミュニティーソーシャルワーカー) の配置を!

共産党区議団がかねてから要求してきた、区民のあらゆる相談に乗る専門職CSWの配置について、国の法律に基づいた総合相談体制の整備が2015年度義務化されるので、区としても早急に具体化するよう求めました。豊島区では既に配置が進み、実績をあげています。豊島区のように国のモデル事業に手を挙げて、来年度途中からでもCSWを設置するよう求め、区は検討すると答えました。



沢田あゆみ議員

認可保育園の更なる増設、幼稚園の預かり保育実施を要求

保育園の待機児童は、2月19日現在、認可保育園に申し込みをしても入れない「不承諾通知」が426人に送られました。予算計上されている2園に追加して認可保育園を整備するよう、また、区立幼稚園で預かり保育を実施するよう求め、区と教育委員会は検討すると答えました。

無電柱化をすすめて安全なまちづくりを

道路の無電柱化は交通安全、バリアフリー、防災等の観点から重要な事業です。現在、新宿区は2路線で事業を行っていますが、2016年度以降の計画はありません。あざみ議員は、歩道幅が狭い道路ほど無電柱化が必要であることを示し、区も「認識している」と答弁しました。今後無電柱化を行う道路を選定する際は、地域からの要望もしっかり受け止めて選定するよう求め、区は「要望を聞きながら選定する」と答えました。



あざみ民栄議員

部活動の充実を

部活動を継続・充実させるために外部指導員の確保については、学校任せではなく、教育委員会としても支援すること、レガスの人材バンクも有効に活用すること、質の向上のために外部指導員の研修を実施すること等を求めました。

震災に強いまちづくりを! 耐震診断後の木造家屋の建替、解体工事に補助金を!

新宿区の木造住宅耐震診断・補強設計費補助は569件、耐震改修工事費補助件数は213件(2013年3月末現在)となっており、一定進んできたもののここ数年横ばいとなっています。荒川区、足立区等12区では、耐震診断で補強が必要と判断された建物に対し、建物の解体や建替費用に補助金を出し、地震に強いまちづくりを進めています。こうした他区の例を示し、新宿区でも、建替工事・解体工事も助成し、区民の命を守ることができるよう耐震化支援事業の強化を求めました。



雨宮武彦議員

特定住宅制度の改善と 共益費の見直しについて

区民住宅は36住宅381戸。借上期間が満了になると特定住宅と制度もかわり、家賃も定額になることから改善を要求、また区立住宅の共益費の見直しを要求しました。

現在も中堅所得階層や子育てファミリー世帯への助成制度は重要課題。区民住宅を有効活用し、新宿区独自の制度を創



田中のりひで議員

受動喫煙防止対策について

2003年5月に施行された健康増進法の25条で「受動喫煙の防止」が明記されました。新宿区では2005年6月20日から区内全体で路上喫煙禁止や歩きタバコが禁止されていますが、残念ながら受動喫煙はまだ解決できていません。



近藤なつ子議員

大病院は敷地内が全面禁煙なのは良いのですが、その周辺で病院関係者が喫煙し、区民が受動喫煙するのは本末転倒です。子どもの施設である牛込成城幼稚園の目の前の都営住宅敷地が喫煙所になっており問題です。喫煙マナーの改善とともに、区は早急に病院やJ-Tに協力を求め、対策を行うべきと質問しました。区は「実態を把握し、必要な対応をお願いする」と答弁。また、千代田区が行っている空家や空き店舗を活用した屋内喫煙所設置のための助成制度を参考に新宿区でも実施をと質問。区は「公費を投じる誘導等は現在考えてない」としながら、個々にJ-T等と連携し支援する方向を示しました。



設すべき。

現時点では区独自の制度の創設は考えていない。それぞれの所有型特定住宅の供給期間が終了した後については、区営住宅への転換を含めて、区立住宅全体のあり方として今後検討する。

高額な共益費の区立住宅が一定数あり、区立住宅の共益費のあり方については早急に検討すべき。特に生活保護世帯の共益費については減免の対応をすべき。

共益費の生活保護世帯への軽減やあり方について検討することは考えていないが共益費が適正でない住宅については、今後、オーナーと粘り強く交渉をすすめるが、いっそう共益費の適正化を目指す。

予算修正案を提出

日本共産党区議団は、区長の予算案に対し、区民の命と暮らしを守る観点から、6項目(約4億6600万円)の予算修正を提案しましたが、残念ながら否決されました。

- ①要支援者に対する家事援助サービス
②要介護者に対する生活支援・外出介助サービス
③生活保護世帯への夏の見舞金支給
④がん検診の無料化
⑤低所得者向け家賃助成
⑥小学1年生への防災すきん配布

採決結果

Table with 6 columns: 自民, 公明, 共産, 民無ク, 主権, 社会. Row 1: X, X, O, X, X, X.

区民の命と暮らしを守るため

日本共産党区議団が4つの条例を提案



- ①心身障害者福祉手当条例の一部改正条例案
②要支援者に対する家事援助実施条例案
③要介護者に対する生活援助・外出サービス実施条例案
④保険事業の利用に係る使用料条例の廃止条例案

採決結果

Table with 7 columns: 自民, 公明, 共産, 民無ク, 主権, 社会, 花マル. Rows 1-4 show voting results for various bills.

条例案は、残念ながら否決されましたが、今後も実現のためにがんばります。



佐藤佳一議員

本会議で条例案説明を行う佐藤佳一議員

区立美術館は撤回に

昨年7月5日に作家の堺屋太氏から申し入れがあった「区立美術愛住館」について、今年3月7日に同氏から撤回の申し出がありました。この問題は、区議会でも異論が続出し、区長が文化芸術振興会議に諮問し、検討している最中の撤回でした。

またもや値上げ 国民健康保険料・後期高齢者医療保険料

【国民健康保険料】

●平均で4,908円の値上げ

※一般会計からの繰り入れを減らしたことで上げ幅が昨年の2倍に。今後3年間繰り入れをさらに減らしていく方針で、今後も大幅値上げが予想されます。日本共産党は値上げ条例に反対しました。

●70~74歳の窓口負担が2割に

今年3月末までに70歳になっている方は1割のままですが、4月以降に70歳になる方は2割負担となります。

【後期高齢者医療保険料】

●平均で4,118円の値上げに

